

ハーヴァード大学付属ピーボディー 人類学博物館研究報告

佐々木 憲一*

ハーヴァード大学付属ピーボディー人類学博物館研究報告 Papers of the Peabody Museum of Archaeology and Ethnology 第1巻(1888年刊行)から第79巻まで(250/22//D)が、2002年度の研究用基礎資料として、一括して明治大学中央図書館に入った。アメリカ合衆国総合人類学における幅広い研究を反映し、日本でいう文化人類学(民族学)は勿論、形質人類学、考古学、言語学も含めた研究成果がこのシリーズに活字になっており、明治大学における様々な分野の研究活動に今後大きく貢献するであろう。本稿ではこのシリーズの若干の紹介を試みる。

アメリカ合衆国において人類学が、好事家の単なる趣味の対象から確固たる研究学問領域へと脱皮するのが19世紀後半である。その変革に大きな役割を果たしたのが1846年設立の国立スミソニアン研究所 Smithsonian Institution¹と1866年設立のハーヴァード大学付属ピーボディー人類学博物館である。私立である同博物館は、海運業で莫大な富を得たGeorge Peabodyの甥、O. C. Marshが、伯父からの遺産をもとに、博物館の建物と館長の給料数十年分をハーヴァード大学に寄付することで設立された²。以来今

*ささき・けんいち / 文学部助教授 / 考古学

¹スミソニアン研究所アメリカ民族学局の年報 Annual Report 全48巻(P389/15//D)と紀要 Bulletin 全200冊(P469/17//D)も2001年度の研究用基礎資料として、一括して中央図書館に入っており、それらの目録もできるだけ早い時期に活字化したいと考えている。

²ピーボディー本人が設立したのは、マサチューセッツ州ボストンの近郊、セーラム Salem に所在する Peabody-Essex Museum である。またコネチカット州のイェール大学にもピーボディー自然史博物館が存在し、その人類学研究叢書もすべて中央図書館で蔵書している。

日に至るまで、アメリカ合衆国人類学界の進歩に大きな役割を果たしてきた。したがってこのシリーズは、過去1世紀以上、合衆国人類学界最高水準の研究成果が発表されていると言っても過言ではない。

ピーボディー博物館はこのPapersの他に、様々なシリーズの刊行物がある。Papersは基本的に新大陸(南北両アメリカ)の考古学、民族学と世界の形質人類学を中心に扱う。新大陸の遺跡のさらに長大な報告書はMemoirsシリーズに収められ、中央図書館ではマヤのSeibal遺跡の報告書全5巻(099/4790//D)がこの一部である。ユーラシア・アフリカ大陸(旧大陸)の考古学的調査報告は戦後Bulletin of the American School of Prehistoric Research(在アメリカ先史学研究所紀要)シリーズに収められるようになり、中央図書館でも、リプリント版を含め完全に揃っている(20巻までは202.5/116//D; 21巻以降は対象地域毎に個別の分類番号が与えられている)。これらの他、MonographシリーズやBulletinシリーズがあるが、テーマなどに基づく明確な区別がないような印象を受ける。

このPapersシリーズの紹介に先だって、英語圏の人類学界におけるモノグラフmonographと分類される出版物の説明が必要である。というのは、このシリーズの個々の人類学研究報告もモノグラフと扱われるからである。学界での定義は「論文以上、単行本未満」といって、学術雑誌の論文としては長すぎるが、出版社が出す単行本としてはやや短すぎる原稿を活字化する手段として位置づけられる。そういう役割は今日でも大きいが、そのもともとの定義から外れて、商業出版物としては扱えないような狭いテーマの、そしてその成果が複数冊に及ぶような長大な原稿の受け皿としても、出版事情が悪い英語圏の学界で不可欠な刊行形態となっている。

さてこのシリーズは1世紀以上の長きに亘って刊行されてきたので、書誌学的に複雑な構成となっている。その特徴を記すと、

1. シリーズ名がArchaeological and Ethnological Papers of the Peabody Museum(第1, 2巻)から、Papers of the Peabody Museum of American Archaeology and Ethnology, Harvard University(第3巻以降)、そして博物館正式名称の変更に伴いPapers of the Peabody Museum of Archaeology and Ethnology, Harvard Universityへと1950年代に変わる事。

2. 第 17 巻から判が 24.0cm × 15.8cm から 26.6cm × 19.6cm へ、現在まで継承される大判になること。
3. 1 巻が複数の号で構成される場合が多いが、その 1 巻が必ずしも単一のテーマでまとまっていなかったり、逆にひとつの研究プロジェクトの報告が複数の巻に分かれていたり、その辺の刊行方針が時代と共に変わっていること。
4. 第 4 巻までと第 11 巻は、単一の巻のなかで第 1 号以降、ページ番号を通して振っているのに対し、第 6, 8 巻では各号のページは 1 から新たに独立して振られていること。
5. 執筆依頼または著者の執筆開始時期に基づいて巻号の番号を順に振っているため、原稿の完成時期すなわち刊行時期が、番号とは関係なくおおきく前後している場合が多いこと。
6. 1 巻で、複数の号が本来計画されたのに、結局 1 号しか出なかったケースがあること (15 巻, 25 巻, 33 巻, 55 巻が該当する)。

さらにこのシリーズにも、特定の小シリーズが組まれている。巻、号がばらばらの場合があるので以下に小シリーズ名と各々に該当する巻、号を列記する。

Lower Mississippi Survey ミシシッピ川下流域の考古学研究 : 25, 60, 71, 74, 78 巻

Reports of the Awatovi Expedition アリゾナ州北東部ホピー族の町に設立された 17 世紀スペイン人宣教師の拠点 Awatovi とその周辺の考古学・民族学調査 : 33, 34, 35 (Nos. 1-3), 36, 37, 38, 39 (No. 1), 69, 70 (No. 1) 巻

Reports of the Ramah Project ニューメキシコ州ナヴァホ族 Ramah の民族学研究 : 40 (Nos. 1-4), 42 (Nos. 1, 2) 巻

Reports of the Rimrock Project ナヴァホ族 Rimrock の民族学研究 : 41 (Nos. 1-4), 42 (No. 3), 43 (No. 1) 巻

Henry Field による西南アジアの人類学的研究 : 45, 46, 48, 52 巻

またひとつの巻に複数の号がまとめられたもので、そのテーマ性が比較的明確なケースについては、以下の目録中で説明を加える。

以下、個々の巻、号の内容を紹介する。Vol. は巻、No. は号、() は出版年を示す。出版年だけが記されている巻、号は出版当時の原本であるが、その次に reprinted とあるものは、すべてクlaus = リプリントという会社による写真製版による復刻であって、復刻年も記した。イタリック体で書かれているのがその本のタイトル、by 以下は著者で、英語流に名字は最後に記した(最初に名前、次にミドルネーム)、edited by とあるのは編者を示す。著者、編者の身分は私ができる範囲内で説明した。pp. は総ページ数、pls. は巻末にアート紙など本文とは別の紙で特に印刷された図版の数を示す。なお復刻版では本文も巻末図版も同じ紙に印刷されており、そのためかわからないが、写真図版は原本のほうが明瞭である。最後に日本語で内容を極簡単に説明した。その際、アメリカ合衆国 50 州については、国名を省略した。

目録と内容紹介

Archaeological and Ethnological Papers of the Peabody Museum, Harvard University

Vol. 1, No. 1 (1888, reprinted in 1971): *Standard or Head-Dress? An Historical Essay on a Relic of Ancient Mexico*, by Zelia Nuttall (ピーボディー博、特別助手), 52 pp. 3 pls. 古代メキシコ人が着用した頭装具

Vol. 1, No. 2 (1891, reprinted in 1974): *The Karankawa Indians, the Coast People of Texas*, by Albert S. Gatschet (アメリカ民族学局), 103 pp. テキサス州メキシコ湾岸地域の先住民族の民族学的調査成果

Vol. 1, No. 3 (1891, reprinted in 1975): *The Atlatl or Spear-Thrower of the Ancient Mexicans*, by Zelia Nuttall, 30 pp. 3 pls. 古代メキシコ人の槍投げ器

Vol. 1, No. 4 (1892, reprinted in 1974): *Report upon Pile-Structures in Naa-*

man's Creek, near Claymont, Delaware, by Hilborne T. Cresson (ピーボディー博、特別助手), 24 pp. デラウェア州の先住民の建築物

Vol. 1, No. 5 (1893, reprinted in 1978): *A Study of Omaha Indian Music*, by Alice C. Fletcher (ピーボディー博、アメリカ民族学担当助手); *Report on the Structural Peculiarities of the Music*, by John Comfort Fillmore, 152 pp. ネブラスカ州オマハ・インディアンの音楽

Vol. 1, No. 6 (1898, reprinted in 1971): *Prehistoric Burial Places of Maine*, by Charles C. Willoughby (ピーボディー博、首席助手), 52 pp. メイン州先史時代の墓

Vol. 1, No. 7 (1904, reprinted in 1968): *A Penitential Rite of the Ancient Mexicans*, by Zelia Nuttall (ピーボディー博、メキシコ考古学担当名誉助手), 26 pp. 5 pls. 古代メキシコ人の改悛儀礼

Vol. 2 (1900/1901, reprinted in 1970): *The Fundamental Principles of Old and New World Civilizations: A Comparative Research based on a Study of the Ancient Mexican Religious, Sociological and Calendrical Systems*, by Zelia Nuttall, 603 pp. 社会学と暦の見地からのユーラシア・アフリカ大陸と南北両アメリカ大陸における文明のあり方の比較研究

Papers of the Peabody Museum of American Archaeology and Ethnology, Harvard University

Vol. 3, No. 1 (1904, reprinted in 1974): *The Cahokia and Surrounding Mound Groups*, by D. I. Bushnell, Jr. (考古学担当助手), 20 pp. 5 pls. イリノイ州カホキア遺跡 (A.D.1050-1200) とその周辺のミシシッピ文化期 (10-15 世紀) のマウンド (墳丘墓と豪族居館の基壇)

Vol. 3, No. 2 (1904, reprinted in 1969): *Exploration of Mounds, Coahoma County, Mississippi*, by Charles Peabody, 40 pp. 17 pls. ミシシッピ州における先史時代マウンドの調査

Vol. 3, No. 3 (1905, reprinted in 1969): *Inheritance of Digital Malformations in Man*, by William C. Farabee (ハーヴァード大学提出の学位論文の一部), 8 pp. 5 pls. 人の指の奇形の遺伝に関する研究

Vol. 3, No. 4 (1906, reprinted in 1974): *The Mandans: A Study of their*

Culture, Archaeology and Language, by G. F. Will and H. J. Spinden, 138 pp.
ミシシッピ川中流域の先住民族の民族学的、考古学的、言語学的研究
Vol. 3, No. 5 (1913): *Discovery of a Fragment of the Printed Copy of the Work on the Millcayac Language*, by Luis de Valdivia and Rudolph R. Schuller, 35 pp. 南アメリカ Pampas におけるミルカヤック語に関する研究

Vol. 4, No. 1 (1904, reprinted in 1978): *Representation of Deities of the Maya Manuscripts*, by Paul Schellhas (translated from German by Selma Wesselhoeft and A. M. Parker), 47 pp. 1 pl.

Vol. 4, No. 2 (1906, reprinted in 1978): *Commentary on the Maya Manuscript in the Royal Public Library of Dresden*, by Ernst Forstemann (translated from German by Selma Wesselhoeft and A. M. Parker), 214 pp. 1 pl.

Vol. 4, No. 3 (1910, reprinted in 1978): *Animal Figures in the Maya Codices*, by Alfred M. Tozzer and Glover M. Allen. 89 pp. 39 pls.

以上、第4巻はマヤ人の残した古文書に関する研究成果である。例えば第1号は古文書での神の扱われ方、第3号は動物がどのように表現されているか。なお第4号の筆頭筆者トツァー Tozzer は1950年までハーヴァード大学人類学科マヤ考古学担当の教授。

Vol. 5 (1911): *The Archaeology of the Delaware Valley*, by Ernest Volk, 258 pp. 125 pls. デラウェア峡谷地域の考古学

Vol. 6, No. 1 (1910): *Commentary upon the Maya-Tzental Perez Codex*, by William E. Gates, 64 pp.

Vol. 6, No. 2 (1921, reprinted in 1978): *A Possible Solution of the Number Series on Pages 51 to 58 of the Dresden Codex*, by Carl E. Guthe, 31 pp. 1 pl.

Vol. 6, No. 3 (1924, reprinted in 1974): *Astronomical Notes on the Maya Codices*, by Robert W. Willson, 46 pp. 9 pls.

Vol. 6, No. 4 (1924, reprinted in 1969): *The Reduction of Maya Dates*, by Herbert J. Spinden, 286 pp.

以上第6巻はマヤの古写本に関する研究である。

Vol. 7 (1917, reprinted in 1967): *History of the Spanish Conquest of Yucatan*

and of the Itzas, by Phillip Ainsworth Means, 206 pp. 6 pls. スペイン人によるユカタン半島とイツァ族の征服史

Vol. 8, No. 1 (1920, reprinted in 1974): *Indian Village Site and Cemetery near Madisonville, Ohio*, by Earnest A. Hooton, with notes on the artifacts by Charles C. Willoughby, 137 pp. 30 pls. オハイオ州マディソンヴィル付近の先史時代遺跡

Vol. 8, No. 2 (1921, reprinted in 1974): *Basket-Maker Caves of Northeastern Arizona*, by Samuel J. Guernsey and Alfred V. Kidder, 121 pp. 44 pls. アリゾナ州北部バスケット・メーカー文化 (A.D. 900-1150) の洞窟遺跡

Vol. 8, No. 3 (1922, reprinted in 1975): *The Turner Group of Earthworks, Hamilton County, Ohio*, by Charles C. Willoughby, with notes on the skeletal remains by Earnest A. Hooton, 132 pp. 27 pls. ホプウェル Hopewell 文化 (200 B.C.-A.D. 400) の巨大な土石構築物で知られるオハイオ州ターナー遺跡

Vol. 9 (1921, reprinted in 1974): *A Maya Grammar*, by Alfred M. Tozzer, 301 pp. マヤ語文法

Vol. 10 (1922, reprinted in 1971): *Indian Tribes of Eastern Peru*, by William Curtis Farabee, 194 pp. 28 pls. ペルー東部の先住民族

Vol. 11, No. 1 (1924): *Indian Burial Place at Winthrop, Massachusetts*, by Charles C. Willoughby, with notes on the skeletal remains by Earnest A. Hooton, 37 pp. 4 pls. マサチューセッツ州ウインスロップの先住民族の墓

Vol. 11, No. 2 (1926): *Official Reports on the Towns of Tequizistlan, Tepechpan, Acolman, and San Juan Teotihuacan sent by Francisco de Castaneda to his Majesty, Philip II, and the Council of the Indies, in 1580*, translated by Zelia Nuttall, 47 pp. 2 pls. スペイン王フェリペ II 世に提出されたメキシコに存在する、テキシトラン、テペクパン、アコルマン、サン・ファン・テオティワカンに関する公式報告の英訳

Vol. 11, No. 3 (1928): *Anthropometric Study of Hawaiians of Pure and Mixed Blood*, by Leslie C. Dunn, 123 pp. ハワイの先住民族の形質人類学

Vol. 11, No. 4 (1931): *Azillian Skeletal Remains from Montardit (Ariege)*

France, by Ruth Otis Sawatell, 38 pp. 7 pls. フランス先史時代人の形質人類学

Vol. 11, No. 5 (1931): *The Evolution of the Human Pelvis in Relation to the Mechanics of the Erect Posture*, by Edward Reynolds, 79 pp. 人間の骨盤の進化

Vol. 12, No. 1 (1931, reprinted in 1971): *Explorations in Northeastern Arizona: Report on the Archaeological Fieldwork of 1920-1923*, by Samuel James Guernsey, 123 pp. 66 pls. アリゾナ州東北地域における 1920-23 年に実施の考古学的調査報告

Vol. 12, No. 2 (1931): *Notes on the Archaeology of the Kaibito and Rainbow Plateaus in Arizona*, by Noel Morss, 18 pp. 7 pls. アリゾナ州 Kaibito とレインボー高地の考古学

Vol. 12, No. 3 (1931, reprinted in 1978): *The Ancient Culture of the Fremont River in Utah*, by Noel Morss, 81 pp. 47 pls. ユタ州フレモント川流域の古代文化

Vol. 13, No. 1 (1931, reprinted in 1975): *Maya-Spanish Crosses in Yucatan*, by George D. Williams, 256 pp. 47 pls. ユカタン半島におけるマヤ人、スペイン人の交流

Vol. 13, No. 2 (1933, reprinted in 1975): *The Phonetic Value of Certain Characters in Maya Writing*, by Benjamin Lee Whorf, 48 pp. マヤ文書のある特徴にみられる音声学的価値

Vol. 13, No. 3 (1936, reprinted in 1975): *The Racial Characteristics of Syrians and Armenians*, by Carl C. Seltzer, 77 pp. シリア人、アルメニア人の人種的特徴

Vol. 14, No. 1 (1931, reprinted in 1975): *The Stalling's Island Mound; Columbia County, Georgia*, by William H. Claffin, Jr., 47 pp. 72 pls. ジョージア州コロンビア郡スターリングズ = アイランドのマウンド

Vol. 14, No. 2: *The Barma River Caribs of British Guiana*, by John Gillin, 274

pp. 30 pls. イギリス領ギアナ、バルナ川流域のカリブ族の民族学

Vol. 15, No. 1 (1932, reprinted in 1974): *The Swarts Ruin: A Typical Mimbres Site in Southwestern New Mexico*, by H. S. and C. B. Cosgrove, 178 pp. 236 pls. 合衆国南西部の Mimbres 文化の典型的な遺跡である、ニューメキシコ州スワルツ遺跡

Vol. 16, No. 1 (1937, reprinted in 1967): *Anthropology of the Natives of Arnhem Land and the Australian Race Problem*, by W. W. Howells (ハーヴァード大学形質人類学の教授), 97 pp. オーストラリア北部準州の先住民民族特別保留地 Arnhem Land の人々の人類学

Vol. 16, No. 2 (1940, reprinted in 1969): *Contributions to the Racial Anthropology of the Near East*, by Carl C. Seltzer, 62 pp. 中近東の人種的人類学の研究

Vol. 16, No. 3 (1940, reprinted in 1967): *Fossil Man in Tangier*, by Muzaffer Suleyman Senyurek, 27 pp. モロッコ北部タンジールの化石人骨
以上 16 巻はすべて形質人類学の報告である。

Vol. 17, No. 1 (1941, reprinted in 1974): *Navaho Pottery Making: An Inquiry into the Affinities of Navaho Painted Pottery*, by Harry Tschopik, Jr., 85 pp. 16 pls. 合衆国南西部ナヴァホ族の土器作り (先史時代ナヴァホの彩紋土器と関連して)

Vol. 17, No. 2 (1941, reprinted in 1974): *Archaeological Investigations in Central Utah*, by John Gillin, 50 pp. 9 pls. ユタ州中部の考古学的調査・研究

Vol. 17, No. 3 (1950, reprinted in 1974): *Flint Quarries-The Sources of Tools and, at the Same Time, the Factories of the American Indian*, by Kirk Bryan, 40 pp. 北アメリカ先史時代人の石器石材獲得

Vol. 18 (1941, reprinted in 1975): *Landa's Relacion de las Cosas de Yucatan: A Translation*, edited with notes by Alfred M. Tozzer, 394 pp. 2 pls. ランダの『ユカタン事物記』(日本語訳は岩波書店の『大航海時代叢書』第 2 期,13

巻に所収 298.08/1//H)

Vol. 19, No. 1 (1941, reprinted in 1974): *The Prehistoric Archaeology of Northwest Africa*, by Frederick R. Wulsin, 173 pp. アフリカ北西部の先史考古学

Vol. 19, No. 2 (1941, reprinted in 1974): *Notes on the Poro in Liberia*, by George Harley, 39 pp. 14 pls. リベリアのポロ族の民族学

Vol. 19, No. 3 (1944, reprinted in 1974): *Early Man and Pleistocene Stratigraphy in Southern and Eastern Asia*, by Hallam L. Movius, Jr. (1973 年までハーヴァード大学ユーラシア・アフリカ大陸考古学担当の教授で、旧石器研究の権威), 125 pp. 東及び南アフリカの初期人類と洪積世の層位学
以上 19 巻はアフリカを対象にした研究である。

Vol. 20 (1943, reprinted in 1974): *Studies in the Anthropology of Oceania and Asia*, edited by Carleton S. Coon and James M. Andrews, IV, 220 pp. オセアニアとアジアの人類学

Vol. 21 (1946, reprinted in 1974): *Archaeology of Alkali Ridge, Southeastern Utah*, by John Ortis Brew (1968 年までハーヴァード大学北アメリカ考古学担当の教授であり、同時にピーボディ博物館長), 345 pp. 111 pls. ユタ州南東部のアルカリ山地の考古学。この本は考古学の型式学など方法論の教科書としての価値も極めて高く、現在でも引用されることがある。

Vol. 22, No. 1 (1944, reprinted in 1974): *Old Oraibi: A Study of the Hopi Indians of Third Mesa*, by Mischa Titiev (ミシガン大学人類学科民族学担当教授), 277 pp. 4 pls. アリゾナ州北部ホピー族の研究

Vol. 22, No. 2 (1944, reprinted in 1974): *Navaho Witchcraft*, by Clyde Kluckhohn (ハーヴァード大学社会人類学の教授), 149 pp. ナヴァホ族の魔術
以上 22 巻は、合衆国南西部の先住民族の民族学的研究である。

Vol. 23, No. 1 (1944, reprinted in 1978): *Racial Prehistory in the Southwest and the Hawikuh Zunis*, by Carl C. Seltzer, 37 pp. ズニ族など合衆国南西部の人種的先史学

Vol. 23, No. 2 (1950): *Hyperbrachycephaly as Influenced by Cultural Conditions*, J. Franklin Ewing, 99 pp. 文化的条件に影響された極度の短頭症

Vol. 23, No. 3 (1950, reprinted in 1970): *The Mountains of Giants: A Racial and Cultural Study of the North Albanian Mountain Ghegs*, Carleton S. Coon, 105 pp. 8 pls. アルバニア北部の山地における人種的文化的研究

以上 23 巻は形質人類学的研究を集めている。

Vol. 24, No. 1 (1945, reprinted in 1975): *The Excavation of Los Muertos and Neighboring Ruins in the Salt River Valley, Southern Arizona*, by Emil W. Haury (アリゾナ大学人類学科考古学担当教授), 223 pp. 90 pls. アリゾナ州南部ソルト・リヴァー峡谷におけるロス＝ムエルトスとその周辺の遺跡の発掘調査

Vol. 24, No. 2 (1947, reprinted in 1975): *Caves of the Upper Gila and Hueco Areas in New Mexico and Texas*, by C. B. Cosgrove, 181 pp. 100 pls. ニューメキシコ州、テキサス州上部ジラ及びウエコ地域の洞穴遺跡

以上 24 巻は合衆国南西部地域の先史学研究を集めている。

Vol. 25, No. 1 (1951, reprinted in 1974): *Archaeological Survey in the Lower Mississippi Alluvial Valley, 1940-1947*, by Philip Phillips (ピーボディー博物館学芸員), James A. Ford (アメリカ自然史博物館学芸員), and James B. Griffin (ミシガン大学人類学科考古学担当教授・人類学博物館長), 462 pp., 40 pls. ミシシッピ川下流域の考古学的踏査

Vol. 26, No. 1 (1944, reprinted in 1970): *Archaeology of Northwestern Venezuela*, Alfred Kidder, II, 178 pp., 18 pls. ヴェネズエラ北西部の考古学

Vol. 26, No. 2 (1949, reprinted in 1970): *The Boruca of Costa Rica*, by Doris Z. Stone, 50 pp., 8 pls. コスタリカのボルカ語の研究

26 巻は中南米を対象とした研究を集めている。

Vol. 27, No. 1 (1943): *Some Early Sites in the Northern Lake Titicaca Basin*, by Alfred Kidder, II, 48 pp., 7 pls. チチカカ湖北部の初期の遺跡

Vol. 27, No. 2 (1944, reprinted in 1969): *An Introduction to the Archaeology of Cuzco*, by John H. Rowe, 69 pp., 9 collotype figures and 8 pls. クスコ考古

学概説

Vol. 27, No. 3 (1946): *Some Notes on the Archaeology of the Department of Puno, Peru*, by Marion H. Tschopik, 57 pp., 10 pls. ペルー、プノ州の考古学

Vol. 27, No. 4 (1947): *Indian Skeletal Material from the Central Coast of Peru*, by Marshall T. Newman, 71 pp., 7 pls. ペルー中部海岸地域先住民族の人骨

27 巻はペルーの先史時代の研究成果である。

Vol. 28, No. 1 (1947, reprinted in 1974): *A Stone Age Cave Site in Tangier*, by Bruce Howe and Hallam L. Movius, Jr., 32 pp., 7 pls. タンジールの石器時代遺跡

Vol. 28, No. 2 (1958, reprinted in 1974): *The Living Races of the Sahara Desert*, by L. Cabot Briggs, 217 pp., 69 pls. 現在サハラ砂漠に生きる人々

28 巻はアフリカ大陸北部を対象としている。

Vol. 29 (1949, reprinted in 1970): *Studies in the Anthropology of Bougainville, Solomon Islands*, by Douglas L. Oliver ソロモン諸島 Bougainville の人類学
No. 1: *The Peabody Museum Expeditions to Bougainville, Solomon Islands, 1938-39*, 27 pp., 6 pls.

No. 2: *Human Relations and Language in a Papuan-Speaking Tribe of Southern Bougainville, Solomon Islands*, 38 pp., 2pls.

No. 3: *Economic and Social Uses of Domestic Pigs in Siuai, Southern Bougainville, Solomon Islands*, 29 pp., 4 pls.

No. 4: *Land Tenure in Northeast Siuai, Southern Bougainville, Solomon Islands*, 97 pp., 8 pls.

No. 30 (1955, reprinted in 1974): *The Physical Anthropology of Ireland*, by Earnest A. Hooton and C. Wesley Dupertuis アイルランドの形質人類学 No. 1, text, 304 pp.; No. 2, tables and 47 half-tones

No. 31 (1947, reprinted in 1974): *Tribes of the Liberian Hinterland: Report of the Peabody Museum Expedition to Liberia*, by George Schwab, 526 pp., 82

pls. リベリア後背地の諸部族

No. 32, No. 1 (1947): *The Cowrie Shell Miao of Kweichow*, by Margaret Portia Mickey, 83 pp., 8 pls. 中国貴州苗族のタカラガイ

No. 32, No. 2 (1950, reprinted in 1975): *Masks as Agents of Social Control in Northeast Liberia*, by George W. Harley, 45 pp., 15 pls. リベリア北東部での、社会支配の媒体としての仮面

No. 32, No. 3 (1956, reprinted in 1978): *A Study of Navajo Symbolism*, by Franc Johnson Newcomb, Stanley Fishler, and Mary C. Wheelwright, 100 pp. ナヴァホ族の象徴性の研究

No. 33, No. 1 (1961, reprinted in 1971): *Jeddito 264: A Report of the Excavation of a Basket-Maker III-Pueblo I Site in Northeastern Arizona with a Review of Some Current Theories in Southwestern Archaeology (Reports of the Awatovi Expedition, No. 7)*, by Hiroshi Daifuku, 86 pp., 10 pls. アリゾナ州北東部バスケット・メーカー III ~ プエブロ I 期の Jeddito 264 遺跡の発掘調査報告

No. 34 (1954, reprinted in 1968): *Prehistoric Stone Implements of Northeastern Arizona (Reports of the Awatovi Expedition, No. 6)*, by Richard B. Woodbury, 240 pp., 28 pls. アリゾナ州北東部の先史時代の石器

No. 35, No. 1 (1942, reprinted in 1974): *The Changing Physical Environment of the Hopi Indians of Arizona (Reports of the Awatovi Expedition, No. 1)*, by John T. Hack, 85 pp., 12 pls. アリゾナ州ホピー族を取り巻く自然環境の変化

No. 35, No. 2 (1942): *Prehistoric Coal Mining in the Jeddito Valley, Arizona (Reports of the Awatovi Expedition, No. 2)*, by John T. Hack, 24 pp., 5 pls. アリゾナ州北東部 Jeddito 峡谷での先史時代石炭採掘

No. 35, No. 3 (1951, reprinted in 1974): *Mammals Found at the Awatovi Site; Post-Cranial Skeletal Characters of Deer, Pronghorn, and Sheep-Goat with Notes on Bos and Bison (Reports of the Awatovi Expedition, No. 4)*, by Barbara Lawrence, 43 pp. アリゾナ州北東部 Awatovi 遺跡の動物遺存体

No. 35, No. 4 (1960, reprinted in 1974): *Post-Cranial Skeletal Characters of*

Bison *and* Bos, by Stanley J. Olsen, 15 pp. 22 pls. バイソンの牛の頭骨以外の
の特徴

1957 年出版時より、**Papers of the Peabody Museum of Archaeology and
Ethnology** となる

No. 36 (1949): *Franciscan Awatovi: The Excavation and Conjectural Recon-
struction of a 17th-Century Spanish Mission Establishment at a Hopi Indian
Town in Northeastern Arizona (Reports of the Awatovi Expedition, No. 3)*, by
Ross Gordon Montgomery, Watson Smith, and John Ortis Brew, 361 pp., 4 pls.
アリゾナ州北東部 Awatovi の発掘

No. 37 (1952): *Kiva Mural Decorations at Awatovi and Kawaika-A (Reports
of the Awatovi Expedition, No. 5)*, by Watson Smith, 363 pp., 64 pls. Awatovi
のキヴァ(先住民族の宗教・儀礼施設)の壁面装飾

No. 38 (1971): *Painted Ceramics of the Western Mound at Awatovi (Reports
of the Awatovi Expedition, No. 8)*, by Watson Smith, 630 pp. Awatovi 西方の
マウンド検出の彩紋土器

No. 39, No. 1 (1972): *Prehistoric Kivas of Antelope Mesa, Northeastern
Arizona (Reports of the Awatovi Expedition, No. 9)*, by Watson Smith, 162 pp.
アリゾナ州北東部アンテロープ・メサの先史時代キヴァ

No. 39, No. 2 (1973): *The Williams Site: A Frontier Mogollon Village in West-
Central New Mexico*, by Watson Smith, 46 pp. ニューメキシコ州中西部のマ
ギヨン文化辺境地方に位置するウィリアムス遺跡

39 巻は合衆国南西部地域の考古学的研究成果である。

Vol. 40, No. 1 (1949, reprinted in 1973): *Gregorio, the Hand-Trembler: A
Psychobiological Personality Study of a Navaho Indian (Reports of the Ramah
Project, No. 1)*, by Alexander H. Leighton and Dorothea C. Leighton, 177 pp.
ニューメキシコ州のナヴァホ族 Ramah の一人を対象とした生物心理学的
研究

Vol. 40, No. 2 (1950): *Some Sex Beliefs and Practices in a Navaho Community (Reports of the Ramah Project, No. 2)*, by Flora L. Bailey, 108 pp. ナヴァホ族 Ramah のある共同体での性信仰と性行動

Vol. 40, No. 3 (1951, reprinted in 1973): *Three Navaho Households: A Comparative Study in Small Group Culture (Reports of the Ramah Project, No. 3)*, by John M. Roberts, 87 pp., 14 collotype figs. ナヴァホ族 Ramah の三家族を対象とした、小集団文化の比較研究

Vol. 40, No. 4 (1952, reprinted in 1973): *Ethnobotany of the Ramah Navaho (Reports of the Ramah Project, No. 4)*, by Paul A. Vestal, 94 pp. ナヴァホ族 Ramah の民族学的植物学

Vol. 41, No. 1 (1951, reprinted in 1973): *Navaho Veterans: A Study of Changing Values (Reports of the Rimrock Project, Value Series, No. 1)*, by Evon Z. Vogt, 223 pp. ナヴァホ族 Rimrock の退役軍人

Vol. 41, No. 2 (1954, reprinted in 1973): *Changing Navaho Religious Values: A Study of Christian Missions to the Rimrock Navahos (Reports of the Rimrock Project, Value Series, No. 2)*, by Robert N. Rapoport, 152 pp. ナヴァホ族の宗教的価値の変化

Vol. 41, No. 3 (1954): *Enemy Way Music: A Study of Social and Esthetic Values as Seen in Navaho Music Navahos (Reports of the Rimrock Project, Value Series, No. 3)*, by David P. McAllester, 96 pp. ナヴァホ族の音楽から見た社会的美学的価値の研究

Vol. 42, No. 1 (1954, reprinted in 1973): *Land-Use in the Ramah Area of New Mexico: An Anthropological Approach to Areal Study (Reports of the Ramah Project, No. 5)*, by John L. Landgraf, 97 pp. ニューメキシコ州 Ramah 地域の土地利用。地域研究への人類学的アプローチ

Vol. 42, No. 2 (1954, reprinted in 1973): *A Study of Rorschach Responses in Four Cultures (Reports of the Ramah Project, No. 6)*, by Bert Kaplan, 44 pp. ロールシャッハ心理検査への4つの文化における結果

Vol. 42, No. 3 (1954): *Navaho Acquisitive Values (Reports of the Rimrock Project, Value Series, No. 5)*, by Richard Hobson, 37 pp. ナヴァホ族の取得の

価値観

Vol. 43, No. 1 (1954): *Zuni Law: A Field of Values (Reports of the Rimrock Project, Value Series, No. 4)*, by Watson Smith and John M. Roberts, 175 pp.
ズニ族の法律

Vol. 43, No. 2 (1962, reprinted in 1973): *The Talamancan Tribes of Costa Rica*, by Doris Stone, 108 pp., 14 pls. コスタリカのタラマンカン部族

Vol. 44, No. 1 (1957, reprinted in 1973): *An Archaeological Survey of West Central New Mexico and East Central Arizona*, by Edward Bridge Danson, 133 pp., 8 pls. ニューメキシコ州中西部とアリゾナ州中東部の考古学踏査

Vol. 44, No. 2 (1962, reprinted in 1973): *The Cerro Colorado Site and Pithouse Architecture in the Southwestern United States prior to A.D. 900*, by William Rotch Bullard, Jr., 205 pp., 16 pls. セロ・コロラド遺跡と紀元900年以前の合衆国南西部の竪穴式住居。著者はJ. O. Brew 館長時代のピーボディー博物館副館長で、マヤ考古学が専門だった。

44 巻は合衆国南西部地域の考古学研究報告を集めた。

Vol. 45, No. 1 (1958): *Body-Marking in Southwestern Asia*, by Henry Field, 162 pp., 37 pls. 西南アジアにおける身体マーキング

Vol. 45, No. 2 (1960, reprinted in 1974): *North Arabian Desert Archaeological Survey, 1925-50*, by Henry Field, 224 pp., 53 pls. 北アラビア砂漠の考古学踏査

Vol. 46, No. 1 (1951): *The Anthropology of Iraq*, Part II, Number 1: The Northern Jazira, by Henry Field, 116 pp., 194 tables, 49 pls.

Vol. 46, No. 2 (1952, reprinted in 1978): *The Anthropology of Iraq*, Part II, Number 2: Kurdistan; Part II, Number 3: Conclusions, by Henry Field, 174 pp., 76 pls. イラクの人類学。なお、Part I はシカゴの『フィールド自然史博物館人類学シリーズ』第30巻第1号(1940)、第2号(1949)として刊行された。

Vol. 47, No. 1 (1952, reprinted in 1978): *Culture: A Critical Review of Con-*

cepts and Definitions, by A. L. Kroeber and Clyde Kluckhohn, 223 pp. 文化人類学における中心的問題である「文化」の概念と定義の批判的評論。クローバー Kroeber はカリフォルニア大学の人類学教授、ハーヴァードのクラックホーン (22 巻第 2 号の著者) と共に当時のアメリカ合衆国人類学界において指導的な立場にあった。

Vol. 48, No. 1 (1953): *Contributions to the Anthropology of the Caucasus*, by Henry Field, 154 pp., 24 pls. コーカサス地方の人類学的研究

Vol. 48, No. 2 (1956, reprinted in 1978): *An Anthropological Reconnaissance in the Near East, 1950*, by Henry Field, 119 pp., 88 tables. 中東地域の人類学的踏査

Vol. 49, No. 1 (1954, reprinted in 1978): *Clay Figurines of the American Southwest*, by Noel Morss, 74 pp., 31 pls. 合衆国南西部地域の土製人形

Vol. 49, No. 2 (1954, reprinted in 1978): *The Monagrillo Culture of Panama*, by Gordon R. Willey and Charles R. McGimsey, 158 pp., 20 pls. パナマのモナグリロ文化。ウィリー Willey は Tozzer のあとを継ぎ、1950 年からハーヴァード大学人類学科マヤ考古学担当の教授。

Vol. 49, No. 3 (1957, reprinted in 1978): *The Archaeology of Central and Southern Honduras*, by Doris Stone, pp. 135, 46 pls. ホンジュラス中部南部の考古学

Vol. 50, No. 1 (1957, reprinted in 1978): *A Chancay-Style Grave at Zapallan, Peru: An Analysis of its Textiles, Pottery and other Furnishings*, by S. K. Lothrop and Joy Mahler, 38 pp., 27 pls. ペルーのザパランにおける Chancay 系の墓

Vol. 50, No. 2 (1957, reprinted in 1978): *Late Nazca Burials at Chavina, Peru*, by S. K. Lothrop and Joy Mahler, 61 pp., 21 pls. ペルー、チャピナにおける後期ナスカ文化の墓

50 巻はペルー考古学の研究成果を集めた。

Vol. 51 (1963, reprinted in 1978): *Archaeology of the Diquis Delta, Costa Rica*, by S. K. Lothrop, 142 pp., 51 pls. コスタリカ、ディキス・デルタの考

古学

Vol. 52 (1959): *An Anthropological Reconnaissance in West Pakistan, 1955*, by Henry Field, 332 pp., 100 pls. パキスタン西部の人類学的踏査

Vol. 53 (1961, reprinted in 1978): *La Victoria: An Early Site on the Pacific Coast of Guatemala*, by Michael D. Coe (イエール大学人類学科考古学担当教授), 163 pp., 49 pls. グアテマラの太平洋岸の初期遺跡、ラ・ヴィクトリア

Vol. 54 (1965): *Prehistoric Maya Settlements in the Belize Valley*, by Gordon R. Willey, William R. Bullard, Jr., John B. Glass, and James C. Gifford, 589 pp., 36 charts. ベリーセ峡谷の先史マヤ文化の集落構造

Vol. 55, No. 1 (1964): *No More for Ever: A Saharan Jewish Town*, by Lloyd Cabot Briggs and Norina Lami Guede, 108 pp., 14 pls. サハラ砂漠のユダヤ人居住地

Vol. 56, No. 1 (1973): *Mammal Remains from Archaeological Sites, Part I: Southeastern and Southwestern United States*, by Stanley J. Olsen, 162 pp.

Vol. 56, No. 2 (1968): *Fish, Amphibian, and Reptile Remains from Archaeological Sites, Part I: Southeastern and Southwestern United States*, by Stanley J. Olsen, 137 pp.

Vol. 56, Nos. 3-5 (1979): *Osteology for the Archaeologist*, No. 3: The American Mastodon and the Woolly Mammoth, pp. 1-48; No. 4: North American Birds: Skulls and Mandibles, pp. 49-90; No. 5: North American Birds: Postcranial Skeletons, pp. 91-186.

以上 56 巻は、遺跡出土の動物遺存体に関する研究を集めた。

Vol. 57, No. 1 (1966): *Craniometry and Multivariate Analysis: The Jomon Population of Japan*, by W. W. Howells, and *A Multi Discriminant Analysis of Egyptian and African Negro Crania*, by J. M. Crichton, 67 pp. 縄文人頭骨の多変量分析 ; エジプトや他のアフリカ人の頭骨多属性分析

Vol. 57, No. 2 (1970): *Hutterite Age Differences in Body Measurements*, by

W. W. Howells, 123 pp.

57 巻は形質人類学的研究を集めた。

Vol. 58 (1968; 1977 に改訂版): *The Waring Papers: The Collected Works of Antonio J. Waring, Jr.*, edited by Stephen Williams, 345 pp. 1964 年死亡、南東部考古学に貢献した医者 (アマチュア考古学者) ワリングの未発表原稿等を集めたもの。編者は J. O. Brew の跡を継いで、ハーヴァード大学の北アメリカ考古学担当教授・ピーボディー博物館長となった。

Vol. 59, No. 1 (1968): *Cremation Cemeteries in Eastern Massachusetts*, by Dena Ferran Dincauze, 103 pp., 21 pls. マサチューセッツ州東部の火葬墓

Vol. 59, No. 2 (1969): *The Fremont Culture: A Study in Culture Dynamics on the Northern Anasazi Frontier*, by James H. Gunnerson, 221 pp., 32 pls. アリゾナ州アナサジ文化北部境界の文化動態

Vol. 60, (1970): *Archaeological Survey in the Lower Yazoo Basin, Mississippi, 1949-1955*, Part One, 571 pp. Part Two, 572-999 pp. by Philip Phillips ミシシッピ州ヤズー盆地の考古学的踏査 (第 25 巻から続く)

Vol. 61 (1970): *Monographs and Papers in Maya Archaeology*, edited by William R. Bullard, Jr., 502 pp. マヤ考古学の諸研究

Architectural Notes on Some Chenes Ruins, by H. E. D. Pollock, pp. 1-87.
チェネス様式の建造物

Protohistoric Pottery of the Guatemala Highlands, by Robert Wauchope, pp. 89-243. グアテマラ高地の原史土器

Topoxte: A Postclassic Maya Site in Peten, Guatemala, by William R. Bullard, Jr., pp. 245-307. グアテマラ、ペテン州の後古典期マヤ文化のトポシュテ遺跡

Preliminary Ceramic and Settlement Papers on Seibal, Guatemala, by Gordon R. Willey, Jeremy A. Sabloff, and Gair Tourtellot, pp. 309-419. グアテマラ、セイバル遺跡調査概要

その他, pp. 421-502.

The Ruins of La Florida, Peten, Guatemala, by Ian Graham, pp. 425-55. グアテマラ、ペテン州、ラ・フロリダ遺跡

On Two Inscriptions at Chichen Itza, by Tatiana Proskouriakoff, pp. 457-67. チチェン・イツァ遺跡のふたつの碑文

The Bacabs: Their Portraits and their Glyphs, by J. E. S. Thompson, pp. 469-85. マヤのバカブ (役職 ; バカブは天を支える神) のあり方

Suggested Classic Period Occupational Specialization in the Southern Maya Lowlands, by R. E. W. Adams, pp. 487-502. 南部低地における古典期マヤの分業の可能性

以下 62 巻から 64 巻まではグアテマラ、ペテン州のアルター・デ・サクラフィシオスというマヤ遺跡の発掘調査報告

Vol. 62, No. 1 (1969): *The Ruins of Altar de Sacrificios, Department of Peten, Guatemala: An Introduction*, by Gordon R. Willey and A. Ledyard Smith, 49 pp.

Vol. 62, No. 2 (1972): *Excavations at Altar de Sacrificios: Architecture, Settlement, Burials and Caches*, by A. Ledyard Smith, 282 pp.

Vol. 63, No. 1 (1971): *Ceramics of Altar de Sacrificios*, by Richard E. W. Adams, 177 pp., 107 pls.

Vol. 63, No. 2 (1972): *The Human Skeletal Remains of Altar de Sacrificios*, by Frank P. Saul, 123 pp.

Vol. 64, No. 1 (1972): *The Artifacts of Altar de Sacrificios*, by Gordon R. Willey, 275 pp.

Vol. 64, No. 2 (1972): *The Hieroglyphic Inscriptions and Monumental Art of Altar de Sacrificios*, by John A. Graham, 123 pp.

Vol. 64, No. 3 (1973): *The Altar de Sacrificios Excavations: General Summary and Conclusions*, by Gordon R. Willey, 85 pp.

Vol. 65 (1971): *The Rock Art of Utah from the Donald Scott Collection*, by Polly Schaafsma, 169 pp. ユタ州の岩壁の芸術

Vol. 66 (1971): *The Pottery of Mayapan, Including Studies of Ceramic Material from Uxmal, Kabah, and Chichen Itza*, by Robert Eliot Smith, 276 pp., 75 pls., 43 tables, and 3 charts. マヤ文化の土器、特にウシュマル、カバー、チチェン・イツァ遺跡の資料

Vol. 67 (1973): *Cranial Variation in Man: A Study by Multivariate Analysis of Patterns of Difference Among Recent Human Populations*, by W. W. Howells, 259 pp. 人間の頭骨の変異

Vol. 68 (1977): *A Symmetry Analysis of Upper Gila Area Ceramic Design*, by Dorothy Koster Washburn, 193 pp. Gila 川上流域における土器の対称分析

Vol. 69 (1978): *Gray Corrugated Pottery from Awatovi and other Jeddito Sites in Northeastern Arizona (Reports of the Awatovi Expedition, No. 10)*, by James C. Gifford and Watson Smith, 155 pp. アリゾナ州北東部 Awatovi 遺跡群の土器

Vol. 70, Nos. 1-2 (1978): *Bones from Awatovi, Northeastern Arizona (Reports of the Awatovi Expedition, No. 11)*, No. 1: The Faunal Remains, by Stanley J. Olsen, pp. 1-34; No. 2: Bone and Antler Artifacts, by Richard Page Wheeler, pp. 35-74. アリゾナ州北東部 Awatovi 遺跡群の動物遺存体

Vol. 71 (1979): *Tunica Treasure*, by Jeffrey P. Brain (ピーボディー博物館学芸員), 329 pp. ルイジアナ州 West Feliciana Parish における紀元 18 世紀半ばの先住民族のテュニカ村の考古・民族資料

Vol. 72 (1980): *Mariana Mesa: Seven Prehistoric Settlements in West-Central New Mexico*, by Charles R. McGimsey III, 298 pp. ニューメキシコ州中西部

における 7 カ所の先史集落

Vol. 73 (1982): *An Osteology of Some Maya Mammals*, by Stanley J. Olsen, 91 pp. マヤ遺跡出土の哺乳動物遺存体

Vol. 74 (1983): *Excavations at the Lake George Site, Yazoo County, Mississippi, 1958-1960*, by Stephen Williams and Jeffrey P. Brain, 483 pp. ミシシッピ州ヤズー盆地のレーク・ジョージ遺跡の発掘調査 (第 60 巻と一連の報告)

Vol. 75 (1987): *A Ceramic Sequence from the Pyramid of the Sun Teotihuacan, Mexico*, by Robert Eliot Smith, 375 pp. メキシコ、テオティワカン遺跡、太陽のピラミッドの土器編年

Vol. 76 (1984): *Pre-Columbian Plant Migration*, by Doris Stone, 183 pp. 新大陸先史時代の植物の移動

Vol. 77 (1985): *Prehistoric Lowland Maya Environment and Subsistence Economy*, edited by Mary Pohl, 209 pp. 先史時代マヤ低地の自然環境と生業経済

Vol. 78 (1988): *Tunica Archaeology*, by Jeffrey P. Brain, 449 pp. テュニカ村の考古学 (第 71 巻の続き)

Vol. 79 (1989): *Skull Shapes and the Map: Craniometric Analyses in the Dispersion of Modern Homo*, by W. W. Howells, 189 pp. 現世人類の頭骨の分析

謝辞：本シリーズに関して若干不明な点は、ピーボディー博物館出版部の Donna Dickerson 女史より教示を受けた。スペイン語の固有名詞、特にその発音については早稲田大学の寺崎秀一郎先生より教示を受けた。感謝したい。